

卒業式を明日に控え、あとわずかです今年度も終わりを迎えます。この1年を振り返ると、5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に変更されたことに伴い、全てではありませんが、本校の教育活動をコロナ禍以前の形に戻したことが最も大きな出来事でした。それは、学級内はもちろんのこと、学級・学年を越えて、子どもたちどうしの関わり、つながり、学び合いを大切にした教育活動です。例えば、ペア学年で行ってきた「にのリンピック」を全校児童による「運動会」にしたこと、動画で他学年の演奏を視聴していた「音楽会」を全校児童が一堂に会して演奏をする、そして他学年の演奏を聴く「校内音楽会」にしたこと、オンラインで行っていた「朝会」を全校児童が顔を合わせ、静かな空間で話を聞き、みんなで考える時間にしたことなどがそうです。

次年度も、子どもたちどうしの関わり、つながり、学び合いを大切にしたいと考えています。

保護者の皆様におかれましては、今年度も本校の教育活動にご理解・ご協力いただきましたこと、またご支援くださったことに感謝いたします。また、地域の皆様におかれましては、子どもたちの安全・安心な登下校の見守り、校内の環境整備や教育活動にご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

～ 今年最後のたてわり交流班活動 ありがとう6年生集会 ～

3月1日に全校児童が参加しての「ありがとう6年生集会」がオンラインにて開かれました。この会は、これまで学校生活をリードし、学校生活の様々な場面でお世話になった6年生に、在校生みんなで感謝の気持ちを伝える会です。在校生を代表して5年生が中心となり、会に向けての準備や当日の運営・進行を行いました。

では、学年ごとに6年生に贈られたメッセージを紹介します。



まずはじめは3年生。「かっこいい！6年生!!」をテーマに、登校班のとき、たてわり交流班のとき、休み時間や遊んでいるときにお世話になった様子、励ましてくれた様子、親切にしてくれた様子を寸劇で紹介しました。

次に1年生。「いけ！いけ！ピッカピカ」のダンスとともに、「にのプロでいっしょにあそんでくれてありがとう」「とうこうはんでみまもってくれてありがとう」「そうじをてつだってくれてありがとう」と感謝の気持ちを伝えました。

そして4年生。「さすがだ6年生SP」と題して、登校班やにのプロの集会でお世話になったことをクイズを通して紹介した後、校内音楽会で演奏した「マツケンサンバ」をみんなで踊り6年生にエールを送りました。

2年生は、委員会、運動会、にの小チャンピオン、登校班、音楽会、そうじ、勉強など、いろいろな場面での6年生への感謝や6年生のすごさを紹介しました。最後に、2月の月の歌「ありがとうの花」をみんなで歌って感謝の気持ちを伝えました。

最後は5年生。「これまでたくさんのことを6年生に教わりました。今度はわたしたちが学校をまとめていきます。」の言葉の後、学校生活の様々な場面で感謝する言葉を伝えながら、6年生と一緒に運動会で踊った思い出の「ソーラン節」をみんなで踊りました。

最後の最後は6年生から。6年間の思い出が語られた後、グループごとの合奏、お笑い、寸劇、ダンスでお礼を伝えました。そして最後に、在校生に向けてのメッセージが送られました。

○1年生へ：新しく入学する1年生となかよくして学校生活を楽しくしてください。

○2年生へ：生活科が理科や社会になります。これから勉強をがんばってください。

○3年生へ：クラブ活動が始まり高学年への仲間入りとなります。がんばってください。

○4年生へ：委員会が始まります。1年間責任をもって取り組める委員会に入ってください。

○5年生へ：最高学年です。低学年の見本となるよう、責任をもって二宮小を支えていってください。

そして、会の最後には在校生を代表して5年生から感謝の思いを伝えるメッセージカードが6年生に贈られました。

この「ありがとう6年生集会」を通して、在校生にバトンを渡して卒業へと気持ちを高める6年生、また、6年生に感謝の気持ちを伝えることによって進級を意識する在校生の姿が見られました。その姿から、この会には、それはそれは大きな意義があることを改めて感じることができました。

